



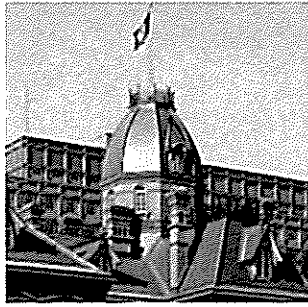
発表項目 (行事名)	赤れんが庁舎改修事業に関する情報発信について ～屋根銅板の葺き替え		
記者レクチャー のお知らせ			発表者
			発表場所
概要	<p>赤れんが庁舎改修事業については、10月上旬から公開予定だった仮設見学施設の展示などで情報発信を行う予定でしたが、火災により公開が延期となったため、道庁本庁舎1階の道民ホールやホームページ、SNSなどで情報発信を行います。</p> <p>今回は赤れんが庁舎の屋根の銅板の葺き替えについて、情報発信します。</p> <p>1 屋根銅板の色の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤れんが庁舎は、昭和43年(1968年)の修理復原工事で、新しい銅板で屋根を葺いており、竣工後は赤褐色でした。 その後、銅の色の経年変化により、十数年かけて褐色から現在の緑青(ろくしょう)色に変化してきました。 <p>2 今回の改修工事での葺き替え</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の改修工事では、新しい銅板で葺き替える計画であり、再び赤褐色になる予定です。 改修工事後、また十数年かけて緑青色に変化していきます。 <p>3 葺き替え工事の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根銅板の葺き替え工事は、赤れんが庁舎本体の屋根は令和5年(2023年)10月頃から、八角塔の屋根は令和6年(2024年)2月頃から実施する予定です。 工事の様子は、令和5年春に復旧・公開を予定している仮設見学施設で見ることができます。 		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	建設部建築局建築整備課(担当者:施設整備・脱炭素化担当課長 菅原 誠) TEL ダイヤルイン 011-204-5102 内線 29-881		
-------------	---	--	--

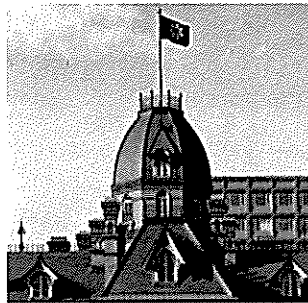
赤れんが庁舎改修事業 屋根銅板の葺き替えについて

赤れんが庁舎の屋根の銅板は銅の経年変化により色が変わってきました。



昭和43年秋（復原改修直後）

復原改修工事では、新しい銅板で屋根を葺いたので、赤褐色でした。



昭和44年秋頃

竣工の1年後には、既に落ち着いた褐色になっています。

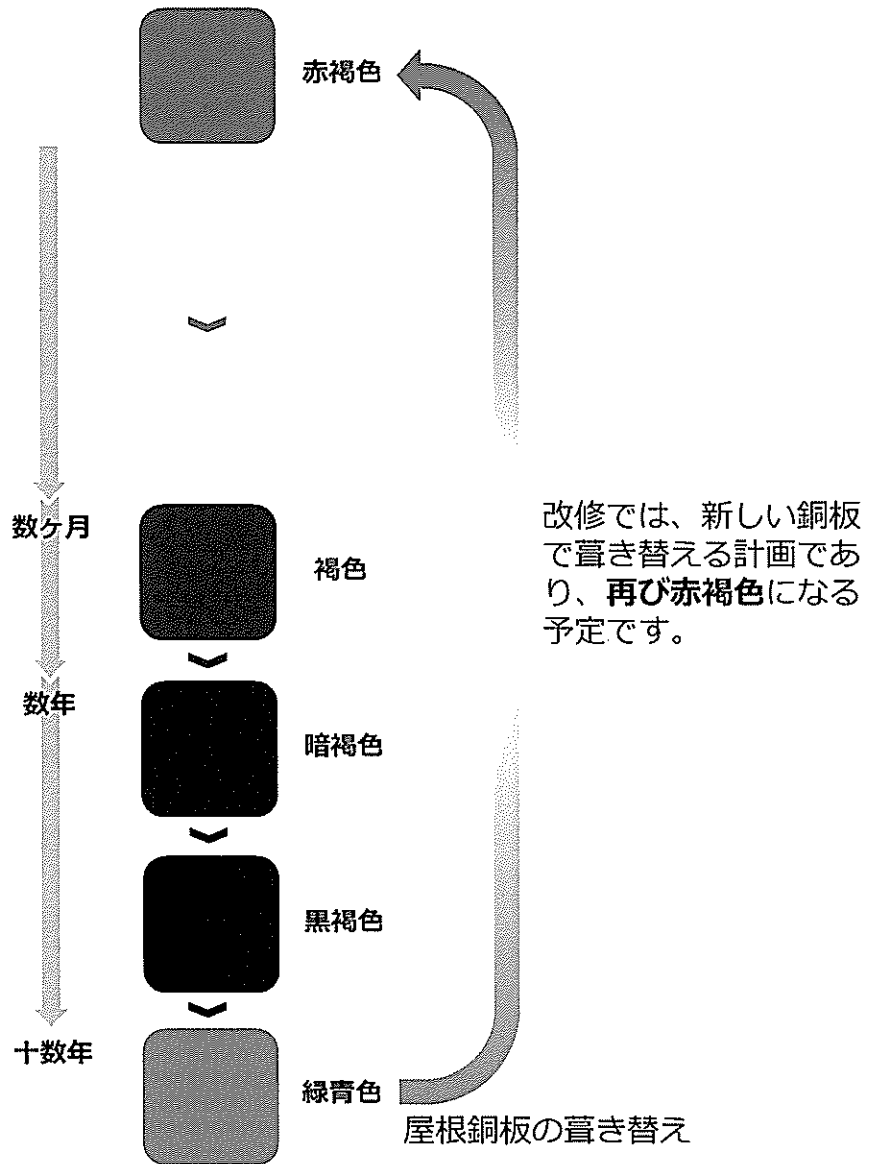


現在（改修工事前）

現在は、緑青が吹いており、青みがかった緑色です。

銅の色の経年変化

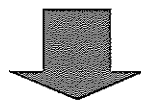
出典：一般社団法人 日本銅センター
<http://www.jcda.or.jp/feature/tabid/83/Default.aspx>



改修では、新しい銅板で葺き替える計画であり、再び赤褐色になる予定です。

銅は、空気中の硫黄化合物や酸素、二酸化炭素、雨などの水分と反応して表面に安定した酸化皮膜が生じます。

この酸化皮膜の化学反応が進むにつれ銅の色は変化し、最終的には緑青色になります。



- ・このたびの改修では、新しい銅板で葺き替える予定であり、再び赤褐色になる予定です。
- ・葺き替え後は、また十数年の時間をかけて緑青色へと変化していきます。
- ・葺き替え工事（令和5年（2023年）10月頃～予定）の様子は、仮設見学施設（令和5年春公開予定）で見学することができます。